

## 7月期財政状況説明会における筆記による意見（総括表）

## ●地域別意見

No.	開催場所	開催日時		出席者	筆記意見数	
					提出者	意見数
1	元箱根集会所	7月1日	水	11	1	1
2	宮城野公民館	7月2日	木	26	3	3
3	仙石原公民館	7月5日	日	22	5	6
4	役場本庁舎	7月6日	月	5	0	0
5	社会教育センター	7月8日	水	9	2	2
6	大平台集会所	7月9日	木	14	0	0
7	箱根集会所	7月10日	金	16	1	2
8	役場分庁舎	7月12日	日	6	1	1
9	やまなみ荘	7月14日	火	7	0	0
10	仙石原公民館	7月15日	水	12	4	13
11	温泉公民館	7月17日	金	14	3	10
計				142	20	38

## ●分類別意見

No.	質問・提案の区分	意見数
1	財政逼迫	0
2	財政推計	0
3	歳入確保	6
4	歳出削減	3
5	人件費（職員削減）	1
6	公共施設	5
7	温泉幼稚園・宮城野保育園	3
8	総合計画	0
9	人口減対策	2
10	町の仕事のやり方	6
11	議員に関すること	0
12	町民への説明	5
13	新たな取組について	1
14	火山関係	1
15	その他	5
計		38

## 7月期財政状況説明会における意見や感想（筆記分）に対する回答

No.	分類	意見や感想	回答
1	歳入確保	宮城野温泉会館へよく行くが、65歳以上の入浴料が50円と非常に安い金額です。一般と同じように150円にして平等にすべきではないでしょうか。老人と言うだけで安くするのは良くないと思います。身障者等であればわかりますが、金額を上げて税収を増やすべきだと思います。	受益者負担の観点から、入浴料を一律にすべきとの考え方もございますが、一方で老人福祉の要素も重要なものと考えております。今後は町の財政状況も勘案しながら、料金設定について検討してまいりたいと考えております。なお宮城野温泉会館の入浴料につきましては、他の地域の町営施設と不均衡が生じないように同様の料金設定にしております。従いまして、料金の改定にあたっては他の町営施設の状況も踏まえて検討してまいります。
2	歳入確保	噴火による民間企業への売上減少にともない税収減による町の財政をどのように考えていくのか。	災害による経済活動低下などの間接被害額については、時間的範囲や推計方法に大きな幅があるため困難であります。町の歳入につきましては入湯税を中心に3億以上の減収が見込まれます。今後も長期的な国・県の支援やふるさと納税による歳入増加対策と経費の節減をし、住民サービスに支障のないよう、努めてまいります。
3	歳入確保	町外の職員より町内の職員を集めれば、税収が入るのでは？	税収に関しては、ご指摘のとおり、町内在住の職員が増えれば、住民税として税収は増加します。 しかし、採用に関しては、町内町外問わず、箱根町職員にふさわしい知識、教養、意欲のある者を採用しています。募集要項にも「採用後町内に居住したいと思う者」と記載し、町内居住を促していますが、強制はできません。 採用後に町内に居住してもらえるように努めています。
4	歳入確保	財政が厳しいから増税という流れは反対。減税を打ち出して人口流入を加速させ、逆に税収アップを図る。	斬新なご提案ですが、町の財政状況は来年度の予算編成ができないほどに逼迫していること、また減税をした場合必要な財源の確保に国の厳しい審査を受けることになってしまうことから、ご提案の減税策を導入することはできません。
5	歳入確保	次に、ふるさと納税を町外居住職員へも今後呼び掛けてゆきたいとの行政側の回答がありました。それは、あくまでも当該職員の自己判断に頼らねばならないのが現状であります。そこで、職員に積極的にふるさと納税を実施してもらおう為に、ふるさと納税の有無を職員の勤務評定（査定）の要件に加味させるべきだと考えます。	勤務評定（人事評価）は、能力と業績に基づいて行われなければいけません。能力評価は企画立案、協調性、判断力など業務を行うために発揮した能力に対し評価するものです。また、業績評価は職員が自らの業務をどの程度達成したかを評価するものです。いずれにしても、人事評価は職務の遂行に対する評価です。職務に影響のない納税の有無を評価に取り入れることは、人事評価の趣旨に反するものでありますので、加味することはありません。

No.	分類	意見や感想	回答
6	歳入確保	歳入を増やす。 町民が借り入れしたお金の取り立ての強化（高校に行く為にお金を借りて、途中で退学してしまい、借り逃げする事が流行っていたと30代の人達から聞いた事がある）	奨学金制度については、篤志家からの寄付金を基金として積み立て、それを財源として高校・大学等の進学費用として必要とする方にお貸しし、そのお貸しした資金を卒業後に返還していただき、次に必要とする方へ再び奨学金としてお貸しする、いわば「たすきリレー」で運用している制度であります。 したがいまして、お貸しした方からの返還が滞ることは、次に必要とする方へお貸しすることが困難になることにつながりますので、逃げ得は許さない姿勢で滞納整理に取り組んでおります。
7	歳出削減	社会教育センターのお風呂の温泉の「廃止」を考えてほしい。 自由に入れないうのに年間100万円ものお金がもったいないのではないか。使用している人数も少ないので。	当施設の温泉につきましては、施設建設にあたってのこの基本構想に、施設の持つ諸要素の一つとして「休養ゾーン」があり、その中に温泉が位置付けられ、設置されたものであります。開館当初は、温泉が楽しめる公民館として特色ある活動が期待されていたものの、周辺の有料温泉施設の営業に影響を及ぼすといった声も聞かれ、当施設の温泉利用は思ったような展開はできませんでした。もとより当温泉は、施設利用者に限っての温泉提供ではございましたが、近年では施設利用者が入浴することも、常連の利用者を除き、年々減少しているという状況でございます。町といたしましては、この温泉施設を種々の条件下にあっても、できる限りの有効活用を図る一方で、財政状況逼迫の中、温泉供給事業者に使用料の減額を了解していただけてきておりますが、いずれは温泉を廃止する方向で検討していきたいと考えております。
8	歳出削減	宮城野支所がさくら館に統合される案は、経費削減になるのでは？	ご提案のとおり、公共施設の統合は経費削減の一つの手段になります。今後の公共施設のあり方については、本年6月に策定した公共施設マネジメント基本方針及び今後策定予定の公共施設再編計画に基づき進めます。
9	歳出削減	歳出について現状の優先順位を教えてください。提示ください。	住民サービス水準を維持し続けるための業務を第一に考えております。 法令上しなければならないことや、安全・安心のまちづくりのための防災、減災等の費用、多くの観光客の受入れに伴うごみ処理や下水道、消防救急等に伴う費用、公共施設の老朽化に伴う施設改修費用等があり、いずれも実施しなければならない業務と考えています。

No.	分類	意見や感想	回答
10	人件費 (職員削減)	人件費が一番の削減だと思うが、1万2,000人の人口で370人は多いのでは？開成町などは、確か50人弱くらいだと聞いている。正職員を減らして、契約職員やアルバイトなどではいけないのか？	<p>人口規模で比較されるとご指摘のとおり370名は多いです。</p> <p>しかし、職員数は、人口のみで算定できるものではなく、町の地形、観光地の特性などを踏まえて決定していますので、決して多すぎることはありません。</p> <p>これまでの定員管理計画においても、職員の削減を行ってきており、必要に応じて業務委託、アルバイト雇用に切り替えてきました。</p> <p>現在行っている住民サービスを維持していくために必要な職員数となっていますので、今後、事務事業、施設配置により、更なる非正規職員化に取り組めると考えています。</p>
11	公共施設	町の施設の統廃合の件（例…宮城野では、支所とさくら館）	施設の統廃合等、今後の公共施設のあり方については、本年6月に策定した公共施設マネジメント基本方針及び今後策定予定の公共施設再編計画に基づき進めます。
12	公共施設	湿生花園の1年中利用できる、営業できる事を考えてほしい（冬は別なことで営業する）	現在指定管理者制度を利用し、町観光協会へ運営を委託しているものであるが、平成28年度に新たな指定管理者と町との間で検討し、対応したい。
13	公共施設	レイクアリーナは即廃とすべき（年間5千万の赤字の意味は？）	<p>総合体育館の経常的支出については、光熱水費や設備管理委託料などが大半を占め、約4千数百万円となっております。その一方、体育館使用料の歳入については約630万円程度であり、差し引き約3千5百万円程度が歳出超過となっているのが現状です。</p> <p>当体育館は、社会体育推進の中心施設として、また国立公園の体育施設の拠点として建設され、町民の健康増進などを図ると共に、箱根を訪れた方々の便宜も図ることを目的としているほか、町外からの団体合宿利用などにより、宿泊を伴った観光客流入の促進など、当町への経済効果は大きいものと考えておりますことから、施設の廃止については、慎重に検討する必要があると考えております。</p> <p>とはいうものの、現状のままの運営形態では、経常的な赤字を回復することは不可能でありますことから、町財政負担の軽減を図りつつ、レイクアリーナの設置目的を堅持し、スポーツツーリズムの拠点施設として存続できるよう、より有効で効率的な管理形態に変更することについて検討をしていきたいと考えております。</p>

No.	分類	意見や感想	回答
14	公共施設	温泉地域の避難所は？幼稚園？宮ノ下公民館？どちらも改修必要では。	<p>温泉幼稚園、温泉公民館ともに避難所としています。温泉地域にある避難所として他には、大平台集会所と社会教育センターがあります。</p> <p>避難所は被災した方が避難する施設であり、長期間生活する必要が出てくる可能性もあります。そのような場合に、少しでも良い環境で過ごしていただくために、ご指摘の2施設だけでなく、町全体の避難所も含め、改修が必要な箇所について検討し、施設所管課と調整しながら、整備を進めていきたいと考えています。</p>
15	公共施設	<p>強羅地域の住民は箱根町運営の施設「やまなみ荘」しか無償で使用する施設がないため、自治会やその他イベントを開催する施設がありません。</p> <p>女子脱衣室内にある物入れの湿気について、換気設備がない。床に2箇所の穴をあけて換気扇を取り付ければよいと思います。(床下は駐車場です)</p> <p>浴室上がり湯の件。やまなみ荘入浴施設は湯本、小涌谷、箱根、仙石原、宮城野、二ノ平、強羅とほとんどの地域の人たちが入浴に来ています。そのため、上がり湯(給湯器2台400リットル)では足りません。真水が出てきて次のお湯が出るまでの時間がかかります。</p> <p>箱根町行政施設として各々の書類を受け付けてほしい。理由は宮城野支所までの交通機関が少ないためです。箱根登山バスは朝と夕1回だけです。自家用車を持っている人は良いのですが、無い人は経済的にも良くないと思います。</p>	<p>やまなみ荘は、老人福祉施設ですが、現在も地域の行事や自治会の会議・イベントなど、様々な用途にご活用いただきしており、今後も継続していきます。</p> <p>施設は鉄筋コンクリート構造であり、内部の配管等の状況を考慮すると換気設備を簡単には設置できないものと考えます。湿気対策につきましては、他の方法で改善できるよう検討してまいります。</p> <p>給湯設備については、配管内のお湯を給湯タンクに戻すなど、無駄のないよう設備改修をおこなっていますが、他の入浴施設が休館するなど入館者が多くなる日については、湯切れを起こすことがあり、大変ご迷惑をおかけしますが、現在の構造ではこれ以上湯量を増やすことができないため、上がり湯の節水等にご理解とご協力をお願いします。</p> <p>やまなみ荘は、指定管理制度を実施しており、町の直営施設ではないため、行政文書の受け付けはご遠慮願っており、これまでどおり郵送等による対応にご協力をお願いします。</p>
16	温泉幼稚園・宮城野保育園	歳入が足りない状況の中で具体的改善策が見えない。宮城野保育園の新築案など撤回させる。	<p>宮城野保育園は、5か月からの小さなお子さんを預かる児童福祉施設ですが、町内の幼児施設の中でも一番古く、築後50年以上が経過した木造の園舎であり、老朽化が進んでおります。そこで、昨年末に園舎の水回り等を調査した結果、基礎の部分からの大修繕や水回り等の修繕、配管・配線等設備修繕が必要であることが判明しました。</p> <p>財政難のこの時期ではありますが、近年の大雨や地震等の自然の状況を鑑みると、町としては、安全で安心な施設の提供をする義務があり、早い時期の大規模修繕か、または、建て替えを行う必要性を感じており、今後の施設の維持管理を含め、古い木造の施設を大規模修繕するより、建て替えることを判断いたしました。</p>
17	温泉幼稚園・宮城野保育園	<p>宮保建設は予算が決まったから建てるではない!!</p> <p>子供の命は大切ですが、今ではないと思います。(大きなマンションが出来て人口が増える予定が近い将来あるのか?)</p>	<p>また、町の児童人口の推移については、子ども・子育て支援事業計画では、今後5年間は、ほぼ横ばいとなっており、宮城野保育園は児童福祉施設として地域での利用があると考えております。</p>

No.	分類	意見や感想	回答
18	温泉幼稚園・宮城野保育園	在住だけでなく在勤の方の子供も通えたら良かった。	特例で認めていた箱根幼稚園以外は、これまで在勤者のお子様は通園できませんでしたが、平成27年4月の子ども子育て支援新制度開始に伴い、町立幼稚園では、在勤者のお子様の通園も可能になっております。
19	人口減対策	(人口問題) ”箱根は住むのに良いところ””子供達の教育でユニークな所があって良いわよ”と言われるようにすれば自然と人口は増えると思います。	ご提案のとおり、地域の特色を活かしたまちづくりは、人口減少対策の一つの手段と思われます。現在策定を進めています地方創生における「総合戦略」において、検討していきます。
20	人口減対策	観光のみでなく若者を呼び込み、雇用を創生する抜本的なプランを作成して欲しい	現在取り組んでいる地方創生の柱の一つに“しごとづくり”がありますが、地方における雇用の創出は人口減少問題解決のための大きなポイントと考えます。総合戦略の策定にあたっては、外部有識者で組織する会議のご意見も伺いながら検討していきます。
21	町の仕事のやり方	町役場全体で仕事の効率化に取り組んで欲しい（民間と同じ努力）。	民間企業の良いところは積極的に取り入れていきたいと考えています。
22	町の仕事のやり方	なんでもサービス向上は望んでいない。我慢もする。	貴重なご意見ありがとうございます。今後もみなさんのご協力を得ながら行政運営をしていきます。
23	町の仕事のやり方	住民が移り住みたくなる施設に重点的に予算を配分すべき。税収が挙げた自治体のやり方を研究すべき。	財政厳しい折、従前のように多くの施策に予算を配分することは、今後は難しいと考えます。現在策定中の第6次総合計画においては、“選択と集中”も念頭に、検討を進めていきたいと考えます。
24	町の仕事のやり方	箱根町電子入札の導入	電子入札については、既に平成18年10月から「かながわ電子入札共同システム」の運用により実施しております。
25	町の仕事のやり方	見積合せ、入札の見直し	入札や見積合せにつきましては、関連法令の趣旨や他の自治体の動向等を踏まえ、適正に実施しているところでございます。
26	町の仕事のやり方	役場の職員がもっと危機感を持って欲しい。自宅に帰っても（箱根地区外）町民と同様な気持ちを抱いてほしい。	ご指摘は、意見として重く受け止めさせていただきます。 職員には、箱根町職員として、町に奉職している、町のために職務をしていることをあらためて自覚するよう取り組んでいきたいと考えています。
27	町民説明	このようなミーティングをタイムリーにして欲しい。（6ヶ月位で）ありがとうございました。箱根町を官民あげて良くしましょう！	貴重なご意見ありがとうございます。みなさんから意見を伺う機会は今後も設けていきます。

No.	分類	意見や感想	回答
28	町民説明	<p>14,5年前に東京から働きに来た時、この町の行政は住民の方を向いていないんだ！？と言う感じでした。</p> <p>組織は”長”に似ると申します。町長はじめ職員の皆さんは町外の方だと思っていましたので、箱根町出身の方がいらっしやったのは意外でした。その方の熱意なのかどうか、今回は職員の方の真摯な気持ちを感じ取れました。個人的な意見としては、町長と町議会（議員も）ががんばっていると思います。もっと真剣に先行きを考えてほしいです。</p> <p>職員の皆さんからもどんどん提案していかないと夕張市のようにになってしまうのではないですか？もっと柔軟な考え方が必要だと思います。でも…開催してくれてありがとうございました。又やって下さい。</p>	<p>業務の改善について所属課にとらわれずに意見を出す機会を設けるなど取り組みを開始しました。</p> <p>ご意見は真摯に受け止め、今後も町長以下職員が一丸となって町の将来を見据え職務に取り組んでまいります。</p>
29	町民説明	<p>財政逼迫説明納得しました。大変良い説明会ですので今後根気よく町全体に浸透させてください。</p>	<p>ありがとうございます。みなさんのご理解を得られるよう広報に努めます。</p>
30	町民説明	<p>7月15日に仙石原文化センターで行われた箱根町財政状況説明会に参加させていただきました。その質疑応答の中で町民から「町は増税への布石として本説明会を実施しているかのように思え、増税ありきの感を禁じ得ない」という趣旨の発言がありました。</p> <p>しかし、私が思うに、現在の箱根町を舟に例えて見ますと、財政危機という荒波の中を箱根町丸は、これからどの方角へ舵をきれば良いのかの判断をする際に、まずは自分の置かれている位置（財政状況）を正確に把握しなければ、これから進む道が見えこないと考えます。</p> <p>それは当然の事でもあります。</p> <p>そう言う意味で本説明会は、自分達町民の乗っている船（箱根町）の正確な位置の再確認の場であると前向きに考えたいと思いました。</p>	<p>町のおかれている現状について、受け入れご理解していただこうと考えていただきありがとうございます。</p> <p>より多くの方々にご理解いただけるよう取り組んでまいります。</p>
31	町民説明	<p>最後に、最終報告として各地域で出された町民側の質問と行政側の回答をホームページ等で告知して頂けるとの約束を頂きましたが、その際に質疑の羅列で終わらせるのではなく、地域別、あるいは教育、福祉、税などのカテゴリーに分類させて告知して頂くと町民の理解が深まりやすいと考えますのでよろしく願います。</p>	<p>ありがとうございます。いただいたご意見は内容によりいくつかの区分に分け、ホームページに掲載させていただきました。</p>

No.	分類	意見や感想	回答
32	新たな取組について	箱根町を真剣に立て直す精神で行政運営に取り組んでください。 今まで通りの対応では、1つも解決できない。刷新した志が最優先である。 私達町民の無関心もこのような状況を迎えているとも言える。 今日のように町民と行政がヒザを交えて、町民の本音を聞く機会を開催するのが遅すぎる。※やる気でやって下さい！	町の置かれている現状を職員で共有し一人一人が真剣に考え、職務に励むことが重要であることから、また町民の皆さんからの意見や提案について情報共有を図るため、職員対象の説明会を開催するなど取り組んでおります。 町民のみなさんと情報を共有するのは行政の基本であると考えます。今後も皆さんの声を聴く機会は設けていきます。
33	火山関係	レベル2になった時の規制範囲は、1kmから前の300mになるのか？又は、そのまま1kmとなるのか（現予測として）	規制範囲については、レベル3では半径約1.1～1.2kmの楕円形となっており、レベル2では半径約440m～530mの楕円形となっています。これは質問の中の1kmと300mの正確な値であり、実質的には以前の規制範囲と同様のものです。 レベル2へ引き下げられた場合は現在の規制範囲について安全確認を実施し、その後440m～530m（質問中300mと同義）の範囲へ縮小します。
34	その他	（学校統合について） 経費節減だけでなく、他に理由はあったかと思いますが小学校中学校は地域性が大切だと思います。地域に学校があること。家庭と学校が親密な関係があつてこそ、子供達が伸び伸び成長していくものと考えます。既に実施していることですので、これから工夫をお願いいたします。	園・小・中一貫教育（分離型）を進めるにあたり、人を育てる教育の基盤は地域にあると捉え、地域に愛着を持ち、地域に貢献できる子どもの育成を図ってまいります。 引き続き、町立の園・学校では開かれた園・学校づくりを推進して、情報の発信や地域教育力を活用させていただき、活力ある学校づくりに取り組んでまいります。
35	その他	ごみ処理事業を環境センターオペレーションにて年間3億円の随意契約を競争方式にすべき。	環境センターオペレーション業務であります粗大ごみ選別業務委託、清掃第2プラント運転管理委託は継続的かつ安定的に処理業務を行うため随意契約で業務を行っています。 なお、清掃第1プラント運転管理委託、第1・第2最終処分場浸出水処理施設運転管理委託は競争方式を採用しています。
36	その他	日頃の行政の対応に不信感が積っていて、金が足りないなんて納得できない。	不信感を抱かれることのないよう職員一同が職務に励まなければなりません。今後ご理解をいただけるように情報を提供していきます。
37	その他	住民税が上がるばかりで、住みたくなくなる。住んでいるメリットがない。災害時が不安である。	少子高齢化による社会保障関係費の増など、本町をはじめとした地方自治体の財政運営は厳しさを増しており、加えて、ご指摘いただいたような災害対策等も行っていかなければなりません。今後も更なる行財政改革等も進めながら、町民の皆さまにもご理解をいただける町政運営を進めていきたいと考えます。



No.	分類	意見や感想	回答
38	その他	各幼稚園・保育園・幼児学園の在席人数（0歳、年少、年中、年長別）と未就学児（入園予定人数）の人数を知りたかったです。	<p>平成27年4月現在の各園の在籍人数は、  湯本幼児学園（0歳児1名、1歳児6名、2歳児10名、3歳児13名、4歳児11名、5歳児13名）計54名  宮城野保育園（0歳児2名、1歳児3名、2歳児7名、3歳児16名、4歳児11名、5歳児19名）計58名  仙石原幼児学園（0歳児3名、1歳児6名、2歳児7名、3歳児20名、4歳児27名、5歳児14名）計77名  温泉幼稚園（3歳児1名、4歳児1名、5歳児3名）計5名  箱根幼稚園（3歳児7名、4歳児2名、5歳児4名）計13名  管外委託児6名</p> <p>また、未就学児については、おおよその人数になりますが3歳2名、4歳1名です。</p>